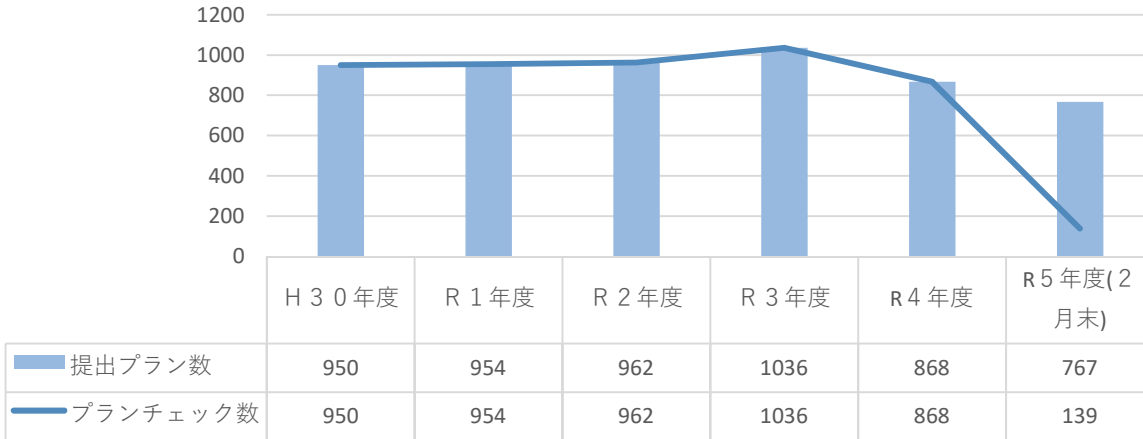


自立支援にむけた介護予防ケアマネジメント促進事業

- 事業 ①自立支援を目的としたケアマネジメントに基づいた支援の推進を図る。
 目的 ②高齢者が家庭内で役割を持ちつつ、社会活動へ参加することを促進する。
 ③高齢者の生きがいや自己実現を支援し、QOLを向上する。

提出プランとプランチェック数の経年変化



事業対象者、要支援1・2の方のプランで、訪問・通所リハビリや訪問看護等専門職による支援を定期的を受けている物以外の全数プランの提出をいただいている。令和4年度から安定者に限りプラン更新時期を1年としたこともあり急増していたプラン数は抑えられている。
 令和5年度から提出プランの中からランダムに選定したプランを複数の目でプランチェックしている。

給付の適正化も含めた視点を持ちながら、過度なサービス利用による、自立支援を抑制していないか、地域のサービスに繋げることはできないかといった視点で行っています。

資料3の抜粋

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
区分		(R2.3)	(R3.3)	(R4.3)	(R5.3)	(R5.12)
①事業対象者		533	450	366	313	305
②要支援	要支援1	302	309	324	346	412
	要支援2	472	479	466	503	557
	計	774	788	790	849	969
総合事業	④総合事業通所介護	192	195	191	227	292
	⑤おでかけデイサービス	152	140	113	108	110

事業対象者と共に総合事業通所介護が急増していた令和以前から比べ、令和元年以降は約200人台をキープしていた。令和5年度になり増加がみられているが、これは高齢者の増加やコロナ後のフレイル進行などの影響と考えられ適正範囲内と考える。